

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 第9回 GIS フォーラム レポート

2024/ 11/ 1

一般社団法人やまぐち GIS ひろば
事務局 弘中淳一

- (1) 日時：2023/ 10/ 15(火) 13:00～17:00 (GIS 講演会、懇親会)
2023/ 10/ 16(水) 10:00～16:00 (QGIS 講習会)
- (2) 場所：KDDI 維新ホール (〒754-0041 山口県山口市小郡令和1丁目1-1)
- (3) 主催：一般社団法人やまぐち GIS ひろば
- (4) 後援：山口県、山口県教育委員会、山口市、山口大学、
大阪大学先導的学際研究機構 住民と育む未来型知的インフラ創造部門
未来インフラ創造拠点
([山口きらめき財団 助成金事業](#))
- (5) 協力 (法人会員) [株式会社常盤商会](#)、[株式会社ニュージャパンナレッジ](#)、
[UICコンサルタント株式会社](#)

【来場者数】 ※スタッフ、講演者込み

- ・ 10/15 (火) GIS 講演会 74 名、懇親会 16 名
- ・ 10/16 (水) QGIS 講演会 (午前)34 名、(午後)29 名 ※うち講習者 23 名

【会 場】 KDDI 維新ホール外観



(1)10/15 (水) 「GIS 講演会」



【司 会】ボアブラン 池田美和子



【開会挨拶】一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事 堀 敬史



【基調講演】（以下、リンクはご講演資料関連）

[2023年に山口県の厚狭川・榎野川流域で発生した水害の特徴](#)

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 副理事長 山本 晴彦（山口大学特命教授）



山本副理事長は、気象防災学が専門であり、山口県が強風災害に見舞われた 1991 年の台風 19 号から現在まで、三十数年にわたり 80 件を超える風水害の調査研究を進めており、令和 2 年にはわが国における気象防災学の第一人者として、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しています。

【講演 1】 [オープンソース防災教育 AR アプリ開発と地域防災での活用](#)

大阪公立大学 大学院情報学研究科 准教授 吉田 大介



吉田先生は、同大学の都市科学・防災研究センターにも所属し、防災士の資格も取得しています。専門は空間情報学で、AR アプリの取り組みに加え、ドローンのデータ活用に関する研究を自治体と連携して進めておられます。

【講演 2】 [QGIS・オープンデータを活用したマップ製作](#)

北海道 喜多 耕一



喜多（きた）様は、QGIS の解説本「業務で使う QGIS バージョン 3 完全使いこなしガイド」の著者で、北海道庁の林業技師でいらっしゃいますが、オープンデータに詳しく、令和 4 年度まで北海道のオープンデータを担当されていました。現在も、北海道庁で地図データの使い方や、QGIS の普及を行われています。

【QA・討論コーナー】～ GIS で奏でる地域防災～

<司 会> 一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事・事務局長 弘中 淳一

<パネリスト> (講演者) 山本 晴彦、吉田 大介、喜多 耕一

一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事長 三浦 房紀



大阪公立大学 吉田 大介



北海道 喜多 耕一



一般社団法人やまぐち GIS ひろば
副理事長 山本 晴彦



一般社団法人やまぐち GIS ひろば
理事長 三浦 房紀



【閉会挨拶】一般社団法人やまぐち GIS ひろば 理事・事務局長 弘中 淳一



(2) 10/16 (水) 「QGIS 講習会」

(午前) Tips 紹介・QA コーナー



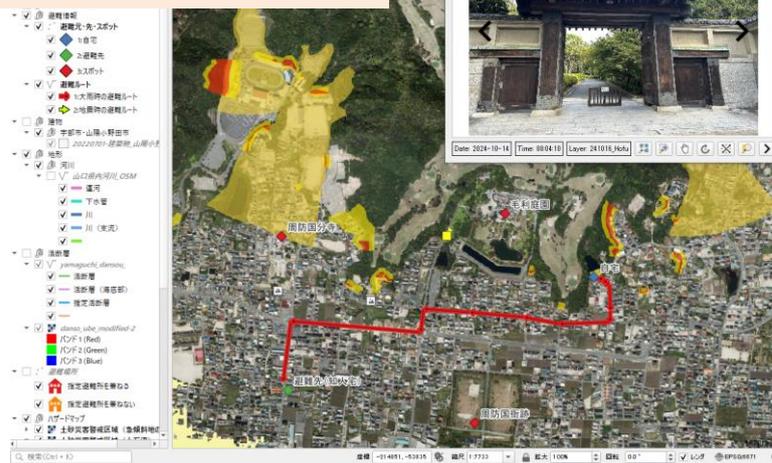
【講師】北海道 喜多 耕一 ([QGISによる分析](#)、[登記所備付地図について](#))



(午後) QGIS 講習会 【講師】 やまぐち GIS ひろば 理事・事務局長 弘中 淳一



QGIS で製作した地域マップ
(発表例：リンク)



【所感】

GIS マーケットも「[デジタルツイン](#)」「[PLATEAU](#)」に代表される 3D の時代へ突入し、これを地域防災にどう生かしてゆくかを考える中で、吉田先生のご講演により、3D の視覚的効果は、学校、地域への波及効果が高いことを実感した。また“聴くよりも触れる”の要望を受け、思い切って QGIS 講習会を再企画した。全国第一人者の喜多さんを招待し、地域自らが電子地図を作り、地域防災に生かすきっかけを狙った。以前開催した QGIS 講習会は、防災士さんに「難しい」と言われたため、極力シンプルな内容としたが、参加者のレベルがまちまちであったこともあり、防災士さんにはやはり難しかったようだ。これを受け、11 月には数名の防災士に絞り補講を実施することとした。地域防災に GIS を活用するハードルは高いが、地域の方々の協力も得ながら、粘り強く行ってゆきたい。

おかげさまで本 GIS フォーラムも無事終了し、関係者のご協力に深く感謝いたします。

以上